

# 名瀬労働基準監督署からのお知らせ

## 令和2年 業種別死傷災害発生状況（速報値）

業種	令和2年		令和1年		増減数		増減率	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	68	1	87	0	-19	1	-21.8%	
1 製造業	2	0	12	0	-10	0	-83.3%	
2 鉱業	1	0	0	0	1	0		
3 建設業	17	1	22	0	-5	1	-22.7%	
4 運輸交通業	4	0	3	0	1	0	33.3%	
5 貨物取扱業	2	0	6	0	-4	0	-66.7%	
6 農林業	6	0	8	0	-2	0	-25.0%	
7 畜産・水産業	6	0	9	0	-3	0	-33.3%	
8 商業	7	0	5	0	2	0	40.0%	
9 金融・広告業	0	0	0	0	0	0		
11 通信業	0	0	0	0	0	0		
12 教育・研究業	0	0	0	0	0	0		
13 保健衛生業	16	0	19	0	-3	0	-15.8%	
14 接客娯楽業	1	0	2	0	-1	0	-50.0%	
上記以外の事業	6	0	1	0	5	0	500.0%	

順位	事故の型	件数	割合	全産業	年齢	人数	割合
					1	墜落・転落	18
2	転倒	15	22.1%	20歳～29歳	6	8.8%	
3	動作の反動・無理な動作	8	11.8%	30歳～39歳	10	14.7%	
4	切れ・こすれ	7	10.3%	40歳～49歳	15	22.1%	
5	激突され	6	8.8%	50歳～59歳	14	20.6%	
				60歳～	23	33.8%	

令和2年の鹿児島県全体の労働災害発生状況は、休業4日以上 の被災者数が1,885人で、前年に比べ45人増えています(2.4%増)。業種的には製造業(353人)、保健衛生業(302人)建設業(279人)の順となっています。死亡者数は14人で、昨年よりも1人減少しています(6.7%減)。奄美群島においては、20%程度減少し68名となっています。現時点ではここ10年間で一番低い数字となります。しかし、徳之島において死亡災害が発生したことは非常に残念でなりません。事故の型をみると、墜落・転落、転倒、腰痛等の無理な動作の順となります。コロナ感染対策を徹底しながら、目配り・気配りでより丁寧に、慎重な作業をお願いします。

※ 確定値は4月上旬となります。

労基署  
だより

第161号  
R3.1.14



年  
末  
年  
始  
無  
災  
害  
運  
動

働き方改革関連の各種様式・リーフレット  
([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322\\_00001.html#h2\\_free4](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322_00001.html#h2_free4))

鹿児島県の最低賃金  
1時間 793円

名瀬労働基準監督署  
TEL 0997-52-0574  
FAX 0997-52-6869